

拠点名：ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点

全体構想：本拠点では、広島大学霞キャンパスに集積している医療系の研究資源を活用し、広島県下の産学官が幅広く参加できる「オール広島連携型の拠点」として、医工連携によるものづくり分野や細胞治療等先進医療技術分野の共同研究を推進していく。

期待される地域活性化

医療系研究資源活用をコンセプトにした産学官連携のインターフェイス機能が実現し、共同研究や人材育成の推進が図られる。また、東広島市に位置する「広島中央サイエンスパーク」との連携効果も相俟って、県下全体の研究開発機能のレベルアップが図られる。

主な共同研究開発課題

本拠点事業では、医工連携によるものづくり（医療機器、福祉機器、自動車等）、細胞治療等先進医療の各分野において、企業、大学、公的支援機関がコンソーシアムを組み、事業化や起業化を見据えた共同研究を行う。主な研究は、次のとおり。

人間医工学応用自動車共同研究プロジェクト

- ・自動車運転支援システム、自動運転システム（居眠り防止、誤操作防止、飛び出し見地予測等）の研究開発。
- ・快適覚醒向上に係る計測・評価技術（快適なドライブ状態、脳波、血流、心拍等）

医工連携医療機器共同研究プロジェクト

- ・高度医用画像処理による次世代高度医療機器の研究開発
- ・高精細映像伝送システムによる遠隔医療支援、遠隔手術システムの研究開発

先端細胞治療再生医療プロジェクト

- ・細胞培養センター、幹細胞バンク、緊急被ばく対応幹細胞バンクを活用した細胞治療及び再生医療技術の研究開発

提案機関：官：広島県

学：広島大学

産：中国経済連合会

参画機関：広島市、県立広島大、広島市立大、広島工業大、近畿大工学部、広島国際大、広島国際学院大、広島商工会議所、ひろしま産業振興機構、産業技術総合研究所中国センター、ちゅうごく産業創造センター、中国経済産業局、マツダ、三菱重工業、湧永製薬、ダイキョウニシカワ、東洋高圧、など

運営体制：事業運営委員会委員

松岡孟（マツダ(株)車両開発本部・主幹）、平井悦郎（三菱重工業(株)機械事業部・新製品部長）、吉川英次（湧永製薬(株)・研究管理部長）、播摩一成（ダイキョウニシカワ(株)・開発本部副本部長（執行役員））、野口賢二郎（(株)東洋高圧・代表取締役）、都留良男（中国経済連合会・理事）、山田昌徳（広島商工会議所・商工部長）、岡本哲治（広島大学・理事・副学長（社会連携・広報・情報担当））、堂本時夫（県立広島大学・理事・副学長（研究・地域貢献担当））、浅田尚紀（広島市立大学・学長）、京極秀樹（近畿大学工学部・工学部長）、玉野和保（広島工業大学・副学長）、森永規彦（広島国際大学・学長）、奥田勉（広島国際学院大学・学長）、津山直登（広島県・商工労働局長）、棚多展義（広島市・経済局長）、森下幾三（(公財)ひろしま産業振興機構・常務理事）

オブザーバー

渡辺信彦（JST イノベーションプラザ広島・事務局長）、松井真一（(独)産業技術総合研究所中国センター・産学官連携センター副センター長）、浜里剛（(財)ちゅうごく産業創造センター・常務理事）、大原晃洋（中国経済産業局・参事官（産学官連携・産業クラスター担当））

拠点事務局 広島大学 社会連携・情報政策室 社会連携グループ

住所：東広島市鏡山一丁目3番2号

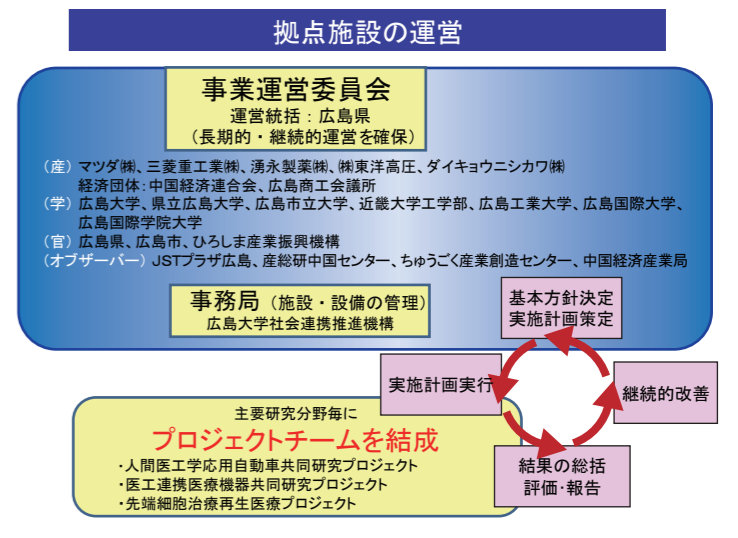
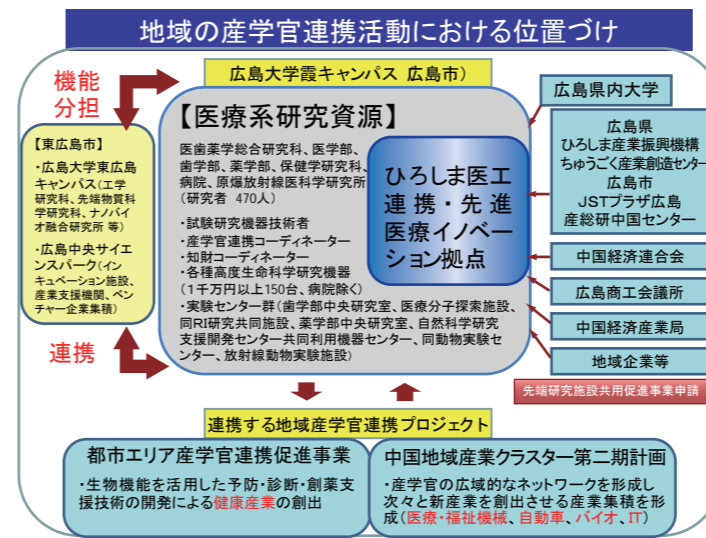
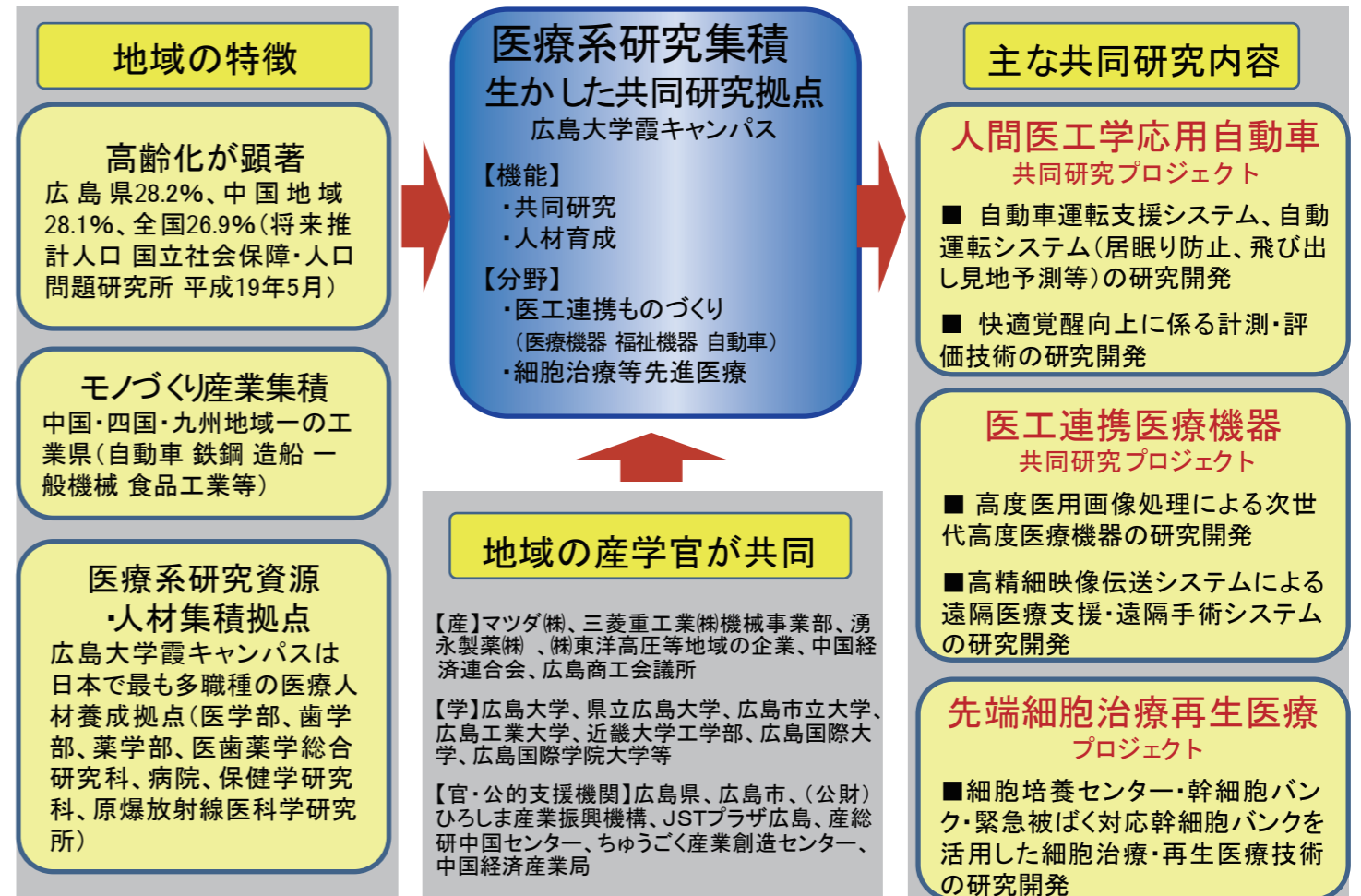
Tel.082-424-5672

拠点設置場所

住所：広島市南区霞一丁目2番3号

Tel.082-257-1609

ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点の目的



医療
ライフサイエンス

医療
ライフサイエンス

ものづくり

ものづくり